

《担当者名》守田 玲菜 r-mori@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

病理学 と共に病気への理解を深め、看護学の基礎を支える科目の1つである各臓器別の疾患に関する講義を中心にすすめる。

【学修目標】

病理学 の講義内容を基礎とし各臓器別の疾患について学び、病気の成り立ちとそれによる身体の変化を説明できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|-------------|------------------------|-----|
| 1 | 循環器の病理 1 | 循環器総論 | 守田 |
| 2 | 循環器の病理 2 | 心不全、虚血性心疾患 | 守田 |
| 3 | 循環器の病理 3 | 先天性心疾患、高血圧症、動脈硬化 | 守田 |
| 4 | 血液疾患 | 造血器の働きと疾患 | 守田 |
| 5 | 呼吸器の病理 1 | 呼吸の生理、上気道の疾患、閉塞性肺疾患 | 守田 |
| 6 | 呼吸器の病理 2 | 呼吸器の悪性腫瘍、肺塞栓症、肺の感染症 | 守田 |
| 7 | 消化器の病理 1 | 口腔・唾液腺/食道/胃の疾患 | 守田 |
| 8 | 消化器の病理 2 | 胃・大腸の疾患 | 守田 |
| 9 | 消化器の病理 3 | 肝胆膵の働きと疾患 | 守田 |
| 10 | 免疫疾患の病理 1 | 炎症、免疫反応の病理、アレルギー | 守田 |
| 11 | 免疫疾患の病理 2 | 膠原病とその類縁疾患 | 守田 |
| 12 | 代謝・内分泌系の病理 | 糖尿病の合併症、アミロイドーシス、甲状腺腫瘍 | 守田 |
| 13 | 皮膚、眼、耳の病理 | 皮膚、眼、耳の疾患 | 守田 |
| 14 | 腎・泌尿器系の病理 1 | 糸球体腎炎 | 守田 |
| 15 | 腎・泌尿器系の病理 2 | 腎、泌尿器・生殖器系の腫瘍 | 守田 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 90%、授業参加状況10%

【教科書】

看護のための臨床病態学・浅野嘉延 他・南山堂(成人病態論1でも使用します)

【参考書】

「病気がみえる」シリーズ(メディックメディア)

【備考】

Google classroomにて授業スライドを供覧し、復習用資料や学習課題を提示します。

【学修の準備】

毎回、復習問題(小テスト)を出します。予習が望ましいですが、できない場合は必ず授業で触れた部分の教科書を熟読してください。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2

【実務経験】

医師

【実務経験を活かした教育内容】

病院での医師としての経験から実践的教育を行う